

未経験・若年層採用6割

ウィルオブ・コンストラクション



若手を育成し、高齢化が深刻な建設業界の課題解決につなげる（イメージ）

建設現場担い手不足対応

建設技術者の派遣を行うウィルオブ・コンストラクション（東京都新宿区、角裕一社長）は、若者の未経験者の採用を強化する。4月に131人の新卒社員を採用したのに続き、2022年4月入社に向けて新卒社員を数百人規模で採用する。建設業界は29歳以下の従事者が1割に対し、55歳以上が3割を占め、高齢化が深刻な課題になっている。未経験の若者を積極採用し、建設業界の課題解決につなげる。

ウィルオブ・コンス「育し、ゼネコンなどのトラクションは、自社 工事現場に派遣する。で採用した正社員を教 従来は顧客から「経験

者を求めるニーズが高かった」（角社長）ことから、経験者を多く採用し、6月時点で社員に占める経験者の割合が7割と、過半を占めた。中でも50代が多かったという。だが、若手を育成しないと「建設業界は将来、担い手不足に陥る」（同）との危機感の下、未経験者の大量採用に踏み切った。22年春に向け数百人規模で新卒と中途の未経験者を採用することで、22年春に同社の未経験者比率は6割に達し、

未経験者の方が経験者を上回る見通しだ。

若者の採用に向けては、従来の自社の求人サイト「施工管理求人ナビ」に加え、動画投稿サイトの「ユーチューブ」や「ティックトック」、会員制交流サイト「フェースブック」などへの投稿を増やし、「応募の窓口を広げる」（同）ことで幅広く人材を募る。

未経験者は定着率が課題となるため、派遣現場が変わってもウィル側では原則、同じ上司・管理者が管理する体制を整え、悩みや相談にも応じて定着率を高める方針だ。現状、社員全体で7割台の定着率を8割台にすることを目標としている。